



10月20日(日)、今井小学校体育館にて開催され、約250名が参加しました。今年にはニュースポーツ体験、健康づくり推進委員会による健康測定に加え、新たに元氣アップコーナーとキッズコーナーが設けられました。

元氣アップコーナーでは地区で活躍する体力づくりサポーター、松本市民音健士の皆さんがそれぞれ講座を行いました。キッズコーナーは皿回し、輪投げ、バルーンアートを体験して楽しみました。

第2回いまいスポーツ健康フェスティバル



No.344

今井公民館
館報編集委員会
電話 59-2001
FAX 59-1004

また未就学児によるりんご拾い、スポーツ健康関連品などが当たる大抽選会も大変盛り上がり、老若男女の笑顔があふれる1日となりました。

第43回今井地区文化祭
残そう、
伝えよう、
未来につなごう
今井の文化



11月3日(日)・4日(月)、今井改善センター・体育館・福祉ひろばを会場に開催されました。

文化資料や力作ぞろいの展示、熱のはいった発表、おいしくいだいだした出店の数々。婦人部が手作りした弁当がならぶ「ふれあい会食会」は、楽しい歓談のひとときとなりました。

参加する団体は減少傾向にあります。個人出展者展示スペースもありますので、来年は多くの皆様の作品出展を期待したいと思います。



▲お弁当を準備する婦人部の皆さん



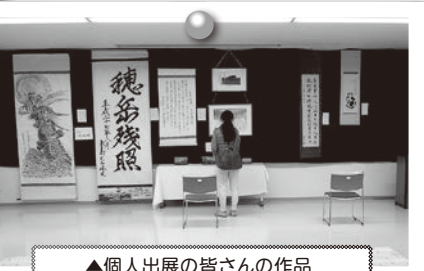
▲たくさんの方がステージ発表を楽しみました



▲みんなで混ぜた生地を流し込み...



▲大きな館報で今井の歴史をふりかえりました



▲個人出展の皆さんの作品



▲大きなカステラが焼きあがりました

若澤寺歴史ウォーク行わる

今井の文化財の中に、旧若澤寺ゆかりの文化財があります。正覚院を始め数カ所において大切に保存されている旧若澤寺由来の文化財。それらの文化財について学ぶため、10月2日(水)30名が波田地区を訪ねました。壮大な規模を誇り信濃日光と言われ、多くの信仰を集めた旧若澤寺の変遷や文化財等について、波田歴史愛好会の百瀬さんからお話を伺いました。

重要文化財の田村堂を見学した後訪れた寺跡。公的補助を受け会員など多くの協力のものと、見事に整備されていました。規模の大きさや、賑わいを見せた当時を彷彿とさせるものでした。

続いて、若澤寺由来文化財を数多く継承している盛泉寺を訪ねそれらを鑑賞しました。



見学の途中で百瀬さんから「史跡や文化財の保存・整備等について、会員の高齢化もあり今後いかにすすめていくべきかが課題で

「す」とのお話を伺い、今井地区における今後の活動のあり方や内容についても考える良い機会となりました。

かわいい子ども達とバス遠足



9月17日(火)にりんごサークルと公民館の共催で「秋の遠足」が行われ、3歳児までの10人の子ども達、8組の親子が参加しました。松本市のバスを利用して、小さい子ども達にとっては少し遠い、年に1回の行事です。安曇野市の菓子屋を見学した後、松川村

の体験交流館でおにぎり作りをしました。テーブルの上には20種以上の具材が並べられ、味見をしながら好きな具材を選んで小さな手で握ると、かわいいおにぎりがいっつもできました。自分で作った色とりどりのおにぎりをほおばった子ども達は、ニコニコ顔でした。その後、広い公園で遊びました。

子ども達は、毎月2、3回一緒に活動をしているとあって、名前を呼びあつて手をつないだり、鬼ごっこをしたりして仲良く遊びました。また、お母さんたちもお互いに助け合っている姿がとても印象的でした。今井りんごサークルは、未就園の子ども達の活動

つがやま No.277 「カボチャづくり」

英西(満園) 中川

昨年から妻が仲間とカボチャづくりに挑戦するというので少しだけ手伝いをしていく。カボチャは母親や祖母が実家の畑で作っていたことは覚えていたが、どのように作っていたのかは全くの無知。それこそ種を蒔いていたのか？苗で植えていたのか？



昨年、猛暑の中で種を蒔き、芽がでないために早朝からの水やり。少し油断をしていたらあつという間に草が伸びてしまひ酷暑のなかの草取り。そしてその生長の早さに驚きながら慌てて横芽かきや向き替え、消毒。パタパタしている内にカボチャは大きくなり収穫し箱詰め、何とか

の場として長い間受け継がれてきました。親子の交流の場であり、母親同士の大切な交流の場であると感じました。
10/13市民体育大会秋季大会 台風19号の接近により中止
11/3市長杯争奪球技大会 軟式野球：波田地区と対戦、惜敗
ゲートボール：優勝(16地区中)



人事異動(センター職員)

植野 仁志主査 市民課へ
上高 卓主査 上水道課から

先日、名古屋で過ごした一日は忘れられない素晴らしい一日となった▼中日新聞の「チケットプレゼント」に応募し、選ばれて名古屋二期会オペラ定期公演を鑑賞し、久方ぶりにオペラの楽しさを素晴らしさを存分に堪能した▼終演後、ホテルへの道が分からず、行きずりの高校生に尋ねた。嫌な顔も見せずスマホで検索し、わざわざ途中で送ってくれた▼利用した地下鉄では、若い青年が何の躊躇もなく、ごく自然に立って席を譲ってくれた。いまだき特に珍しい光景ではないと思われるが、私にとっては本当に嬉しかった▼さらに、帰宅のため地下街を通って高速バスターミナルを探すが迷路のように入り組んでいて勝手が分からず、目に入った商店に飛び込み場所を訪ねた。来客の応対もあると思われるが、わざわざエレベーターの場所まで案内してくれ、笑顔で見送ってくれた▼いやなニュースや、悲惨なニュースが連日紙面やテレビ画面を賑わしている中、今回の経験で私は「将来の日本は大丈夫」の感を強くした。思いやりや親切という日本人の持っている優しさ素晴らしさを、ごく自然に若者が体現してくれたからである。(K.K)